



コロンボ日本人学校だより

アーユボーン

(අර්‍යුබෝන් කොන්චිචා)

9月号

平成 30(2018)年9月7日(金) 発行

2学期のはじめにあたって

校長 新井 政明

今週から2学期が始まり、児童生徒は始業式に元気な顔を見せてくれました。久しぶりに顔を合わせましたが、日本やスリランカで長期の休みを利用し、一人一人が有意義な夏休みが過ごせたようです。2学期は初日からコロンボドックヤード様から船の進水式の見学を許可していただき、児童生徒が貴重な体験をさせていただきました。コロンボドックヤード関係者の皆様に感謝申し上げます。

一方、3日の始業式では、校長より教育者 東井義雄さんの「世界のビリっ子」(下記)を例にして、2学期も日々の努力を続けるようにお話をしました。2学期は日本では「学習の秋」と言われますが、学校にも慣れ授業に一層集中できる学期でもあります。今後も伝統的な活動を継承しながら、新たな取組も進めてまいりたいと考えています。どうぞよろしくご理解とご協力をお願いいたします。

東井義雄は、師範学校(大学の教育学部)に入った。運動部に入るために、最初サッカー部に行った。山奥で育ったので、サッカーボールを蹴るのは初めてであった。力を入れて蹴ったが、横へ飛んでいってしまった。「お前はあかん、野球部へ行け」と言われて、生まれてはじめてバットというものを持った。もちろんボールが当たるはずがない。「お前あかん、庭球部に行け」、次に「お前あかん、水泳部に行け」と、たらい回しにされ、ようやく陸上競技部にたどりついた。100メートル走らされたが、一番ビリっ子。

「おまえ何もあかん、辛抱強う粘れるか」と言われ、マラソン部に入った辛抱強く走ったのは走ったのだが、結局師範在学4年間、ビリっ子を続けた。4年間のビリっ子は、東井にとってよい勉強になった。毎日ビリを走りながら、兎と亀の話考えた。イソップの話では最後に亀が勝つが、亀がいくら頑張っても兎に勝つことはないと思った。そして、「つまらん兎」より、「値打ちのある亀」になろうと決意した。

その後、東井義雄は小学と中学の教師をすることになるが、ぶきっちょな何にもできない先生も必要だと思っていた。東井は、ある学校の校長となり、そこで運動のできない生徒に出会い、その生徒の努力が表れるような通知表を作った。ビリっ子であった東井にしか作れない通知表であった。その後、ビリっ子の東井が、子ども中心の哲学をもった国内でも著名な教育者となった。

紹介式・始業式

9月から小学部に3人の転入児童があり3日に紹介式を行いました。2学期の全校児童生徒数は、新たに転入生3人を迎え、19人でのスタートとなります。転入生の皆さんが、みんなとともに元気に学び、楽しく学校生活が送れるよう願っています。

一方、これに伴って、小学部は3,4年と5,6年がそれぞれ複式学級編制となり、授業の進め方も一部変わります。



転入生紹介

- ★ 小1 Y・Iさん(男子)
- ★ 小4 O・Sさん(女子)
- ★ 小5 Y・Iさん(女子)

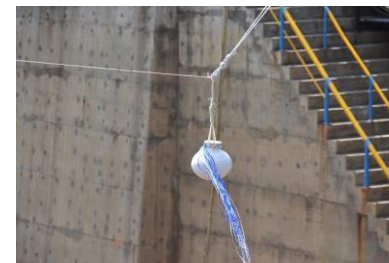
IA 授業⑤を実施

9月6日、5回目のIAの時間が行われました。担当の酒井教諭が「名前を大切にすることってどういうことかな」をテーマに授業を行いました。自分の名前に込められている願いを発表し合うことを通して、名前を大切にすることを培うことをねらいとしました。全員が自分の名前について発表し、それについて感じたことを記録し合いました。児童生徒がお互いを大切にすることに繋げようとした授業でした。



校外学習「コロンボドックヤード進水式」

9月3日午後からドックヤード様から船のつくり方について学んだ後、新造船の進水式を見学させていただきました。船の進水式を見学できる機会は珍しく、児童生徒もドックヤードの皆様から貴重な体験をさせていただき喜んでいました。大きなミルク壺を船に当てて、無事進水式が終了しました。



生徒の転出について

中学部3年生のJ・Bさんが、9月からロンドンの学校に転校しました。今年の1月以降、生徒会長としてその明るい性格で学校全体をリードしてくれました。学校全体のリーダーの転出は残念ですが、現地の学校でのご活躍を祈っています。

本のご寄贈の御礼

1学期末に、株式会社 安藤・間 様から学研発行の「トンネルのひみつ」を2冊ご寄贈いただきました。図書館の蔵書として活用させていただきます。ありがとうございました。



<今後の予定>

9月 8日(土)	日本人会墓参会	9月20日(木)	IA 授業
9月10日(月)	運動会特別時程開始	9月21日(金)	振替休業日
9月13日(木)	IA 授業、ダワルキヤーマ	9月24日(月)	Poya day
9月16日(日)	参観日・PTA 総会		